

文化財・まちづくり関係者からのヒアリング記録

1. ヒアリング目的

文化財・まちづくりに関連する団体、活動を行う個人に、ヒアリングを行うことで、現在作成中の文化財保存活用計画における、文化財の現状把握、課題の抽出をし、今後に向けて計画する事業化及びその連携を検討する。

(計画作成当初には、複数人数が集まるワークショップの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止への観点から、少人数を対象としたヒアリング調査に切り替えた。)

2. 時期

令和3年(2021)7月~令和4年(2022)2月

3. ヒアリング内容

これまでの活動、市内でのこしたいと思う歴史文化、今後関わることのできそうな文化財関連事業や活動、行政への期待、シンポジウム開催にむけた意見等

4. ヒアリング対象者

1	kamon かしわインフォメーションセンター	令和3年第1回 柏市文化財保護委員会 で報告
2	柏市観光協会(柏商工会議所内)	
3	一般財団法人 柏市まちづくり公社	
4	道の駅しょうなん(手賀沼アグリビジネス推進協議会)	
5	篠籠田の獅子舞保存会	
6	ちゃーりんぐ柏	令和4年第1回 (今回) 柏市文化財保護委員会 で報告
7	ハンズオンラボ	
8	歴史クラブ	
9	千葉県建築士事務所協会東葛支部「景観まちづくり委員会」	
10	沼南ファーム	
11	株式会社バルーン	
12	市民公益活動団体 柏観光プロダクション	
13	一般財団法人 柏市みどりの基金	
14	合同会社 EDGE HAUS	
15	千葉県建築士会柏支部	
16	NPO 法人 下田の杜里山フォーラム	
17	福寿院(観音堂が市指定文化財)	

調査日 : 令和 3年 7月 15日 10:30~12:00

調査者氏名 : 中村、海東(もば)、江藤(文化課)

ヒアリング対象者 氏名	藤田とし子氏(センター長)、 稲葉素恵子氏(企画担当マネージャー)
” 団体名	kamon かしわインフォメーションセンター (運営:NPO法人柏ソーシャルキャピタル協会)
” 所在地	千葉県柏市柏1-1-11 ファミリかしわ3階

質問内容		調査者が記入する () = 発言者(敬称略)
0	かしわインフォメーションセンターの概要	<p>・市民や通う人の住みやすい都市というきっかけを提供することが目的。観光・文化財ありきではない。観光案内ではなく、いろいろな関係を示す”関係案内”である。(藤田)</p> <p>・2009年に発足、2009~2018はNPO法人柏市インフォメーション協会の運営。2019年からNPO法人柏ソーシャルキャピタル協会の運営である。スタッフは継続し関係者は変わっていない。(稲葉)</p> <p>・2009年から当場所である。当初は駅中等話があったが賃貸料等によりここになった。(藤田)</p> <p>・一番関係している部署は商工振興課。教育委員会の「柏学」を販売している。図書館とも連携。(藤田)</p> <p>・コロナ前は、ビジネスで一日空いたから情報が欲しい人や海外からの人が来ていた。海外の人は柏は東京に行くため泊まるだけの場所という人が多いが、ヨーロッパ圏の方は野田の武神館へ行く人が多く、日本家屋の情報や、食事の情報を多く求められ、アジア圏の方からはお買い物情報を多く求められた。(稲葉)</p>
1	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<p>●「まち旅かしわ」</p> <p>・市民の代表(これまで尾牧氏等)がお気に入りの場所等を紹介。Web及び紙(Web版から作成)で発信。Web上はルートも掲載。(藤田・稲葉)</p> <p>・気になる場所は記すが、幅広い人が見るため専門性を高くせず、歴史的ということはそこまで考えていない。(藤田)</p> <p>・廻る時間を重視している。休憩場所の飲食店等も意識して入れている。(藤田)</p> <p>・1年で40コースほどできる予定である。ナビゲーターは募集はせず、こちらで手配している。(藤田)</p> <p>・Webで英語版も掲載したがアクセス数が少なく、今後多言語化を進めるかはわからない。(藤田・稲葉)</p> <p>・年度末に冊子化を予定している。(藤田・稲葉)</p> <p>●「歴史発見」</p> <p>・高野氏による歴史専門のコーナー。文化財に限ってはいない。Web発信。(藤田)</p> <p>・コースとスポット(寺社など)を示す。(稲葉)</p> <p>・歴史に素人のスタッフ2人が同行し、質問、高野氏の解説という構成。(稲葉)</p> <p>以上2コーナーに共通</p> <p>・徒歩が基本である。自転車は不向きな道もあり安全が確保できず推奨していない。(藤田)</p> <p>・写真撮影を(予算上)プロに頼めず素人なのが悩みである。(稲葉)</p> <p>・紹介した場所で立派な家だと勝手に入ってしまったたり、自転車の危険などは不安である。外から来た人にはその土地の感覚がわからないこともある。そのあたり配慮してセーブして作成している。(藤田・稲葉)</p>

		つづき	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は文化財とそれに関わる物の情報交換をしていきたい。(江藤) ・旧手賀教会堂の工事が完了し、見学者が多く、周辺で土産物を作れるとよいかと考えている。(江藤) →饅頭なら冷凍にすると良いのではないか。オカキは通常のものからパッケージを変更すると良いのではないか。(藤田) ・旧手賀教会堂の動画を撮らせてもらえると良い。「まち旅かしわで」旧手賀教会堂周辺をとりあげるのも考えられる。(藤田・稲葉) ・当施設でも土産販売を考えている。物は出してもらえる当てがあるが、パッケージもこだわって製作したい。(藤田) ・柏特産の野菜がいくつかあるが、野菜物の土産はあまり売れない印象がある。(藤田)
2	のこしたものの	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入り、藤ヶ谷の百庚申。こうした路傍の石を朽ち果てないようにしてほしい。(藤田) ・富勢のあたりは江戸時代に河岸で栄えたことがあまり知られていない。たなか地区の地元の人は「たなか」という名に誇り・愛着を持っている。かつて柏の中心であったが日の目が当たらない印象がある。たなか地区の思いを伝えてほしい。(藤田) ・行事は、三匹獅子舞、烏ビシャ。(藤田)
3		⇒その理由をお聞かせください	
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財ひとつひとつの解説が多いが、ストーリーが大事である。ストーリーがあると興味のない人も見るようになる。例えば、庚申塔が何かではなく、誰が何のためにがわかると興味がわく。(藤田) →地域計画の方法と合致する。(江藤)
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・柏には歴史がないと思っている人が多いと感じる。柏の歴史を示すべきである。認識を変える取組を望む。(藤田)
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	現在協力しているのは、柏観光プロダクション、UDCK
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	おすすめは、手作り科学館 Exedra、coderDojo(柏市内に4か所)(藤田)
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に保存に取り組む人の参加があると良い。(藤田)
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	上記項目に含む

調査日 : 令和 3年 7月 15日 16:00~17:30

調査者氏名 : 中村(もば)、江藤(文化課)

ヒアリング対象者 氏名	中島氏 和田氏
〃 団体名	柏市観光協会
〃 所在地	千葉県柏市東上町7-18 柏商工会議所内

	質問内容	調査者が記入する () = 発言者(敬称略) ※無記は中島氏
0	柏市観光協会の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・創立52,3年で、当初は役所内にあった。初代・2代会長は柏市議会議長。寺島周三の時代に商工会議所へ。会員は事業者で150社ほど。 ・いろいろな切り口があってよい。広く浅くだが、深くも見ていけない。 ・コロナ前はオリンピック・パラリンピックに向けたインバウンドを意識した事業を進めていた。外国語版HPの作成、柏市内の名所を紹介しつつ体験型のメニューをつくった。例) 相撲稽古の風景見学、最後に廻しをしめて土俵に上がる・手賀沼サイクリング・旧吉田家筆ペンアート・座禅 ところがこれからという時にコロナでほぼなくなった。
1	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 柏すもう少年団(毎週末、市体育館裏相撲場): ナガイ氏が核。子供に相撲を教える。隆の勝がOB、十両も3,4人いる。豊昇龍はナガイ氏指導の高校のOB。 ● 柏二中に相撲部あり最近では常勝している。徳之島(鹿児島)から優秀な子が柏二中相撲部に留学。稽古の様子を見てもらう。
現在		<ul style="list-style-type: none"> ● 昔話 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもマイクロツーリズムの観点から、柏の昔話の取組を始めた。 S60教育委員会発行の『柏のむかしばなし』は沼南町合併前なので、高野氏等に尋ね沼南町史料から昔話になる材料を抽出しいくつか追加した。市のHPに載ってない話も調べると多く、全てだと50くらい。(例: こんぶくろ池について、HPには2つだがその他に4つはある。) 歩けるように、舞台になった場所特定をした。元文化課吉田氏とも協力。(例: ごろが池。小金ヶ原としか記載なく、それだけでは広い。吉田氏から情報あり見に行き特定。) まだ場所が特定できてない作品があるが、8,9割できて、HPにマップで示している。例) 延命地藏 本堂ではない場所であるのがわかるよう境内図示。 ● 観光タクシー <ul style="list-style-type: none"> タクシー業界も下降気味なので乗り気。観光タクシーはメーター関係なくお客さんへも良い。昔話スポットや観光地を廻る。見るものにお金出すだけのポテンシャルが必要。 → 2~3時間で回りたい時によさそうである。観光の便が厳しいところへ良い。(江藤) ● ツアー <ul style="list-style-type: none"> 1日で5か所ほど廻る。文化財へも行く。サッカー場や市議会の特別な場所へも入る。マイクロバス(20人)2台で毎回250人ほど申込がある。市民限定。平日昼間・無料。高齢者多。我々は旅行業資格はないので、ご飯は場所に連れて行き自由にする。例: 野菜料理「さんち家」、柏の葉キャンパスの学食、市場等喜ばれる。 ● 柏の風景チャンネル(facebook) <ul style="list-style-type: none"> ・よい風景を投稿してもらおう。城山遺跡、戸張城のあたりの投稿があった。文京区所有だが、柏市が買い戻して歴史公園にしてもらえると良いと思った。 ● カレンダー <ul style="list-style-type: none"> 毎年作成。柏の風景を画家が描く。現在1冊300円 ● サイクリング <ul style="list-style-type: none"> まだ返す場所など制限があるので、改良の可能性がある。手賀沼周辺だと我孫子も入ってくる。 ・ JR駅からハイキング: 1週間で2500人参加、文化課も協力。JRとしては都内~柏の交通に使ってほしいとのことで最初と最後を駅に設定する。コラボすると人が多く流れる。歩きが基本で10kmほど。(江藤) <ul style="list-style-type: none"> → 文化財に限らずコースの自由度は高そうである。

2		<p>柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？ (複数回答可)</p>	
3	のこしたいもの	<p>⇒その理由をお聞かせください</p>	<p>●手賀沼 柏市内でも貴重である。道の駅イシバシ氏とも話し、リニューアルで集客力があり、遊覧船、サイクリングもできる。北柏から、道の駅を経由し奥手賀、フィッシングセンターのユハラ氏やイシバシ氏のアグリビジネス、カフェもできて観光拠点になる。古い寺社も点在している。 →旧手賀教会堂周辺でも協力できると良い。(江藤)</p> <p>●城跡 御城印、柏では松ヶ崎、増尾、高野城の3か所だが、砦なども合わせ柏では28か所城跡ある。県内では市原の次に多い。跡形もない所もあるが古城マニア多い。カード等よい。昔話マップに場所を加えるかと考えている。廻れる、現地に行く楽しみを重視している。 地元の業者でつくりたい。 遺跡だと、現地で見ても楽しむことがなかなか難しい。→地中が多い。建造物がよい。(江藤) 宮根遺跡、今は休墾地だが今でも掘ると土器が出る。</p> <p>●ごろが池 昔話に登場。良い場所である。</p> <p>●正光寺 駄賃坂 極細い道。昔は石碑があったが今はなくわかりにくい。</p>
4	課題	<p>文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください</p>	<p>・来てもらうのを良しとしない人もいる。(例:昔話うなぎ道、大杉道、高田の熊野神社内に大杉神社があるが氏子さんはあまり来てほしくないとのこと、QRコードは掲示しなかった。)</p>
5		<p>文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？</p>	
6	行政に	<p>文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください</p>	<p>・昨年度に昔話の取組で「柏市チャレンジ支援補助金」を得た。話を整理し34HP掲載、マップ作製、6つの話の読み聞かせ動画作成(ナレーション:アッキー氏、録音は専門業者)、舞台になった場所にQRコード付看板を設置。その場やその後に聞ける。 絵、題字はタカシロ氏(整体師、柏長生館)筆ペンアートの師範である。 作っただけでは見る人が少ないので、千葉日報やj:comに取り上げてもらった。 ・今年をもっと数を増やしたい。関連のお土産もつくりたい。商工会議所なので経済につなげたい。 ・今、関連の展示を図書館で巡回している。 ・文化課の読聞かせ動画も最近である。橋本館長による。(江藤) ・関連事項を地域計画に盛り込み、観光協会の事業に補助があてられるか相談していきたい(江藤) →事業は役所でPRを観光協会ですることでもある。</p>
7	他団体との連携	<p>柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？</p>	<p>現在協力している: インフォメーションセンターで展示をした。 フットパス(観光プロダクション)、昔話をポイントに入れた。</p>
8		<p>柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？</p>	
9	シンポジウム	<p>令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？</p>	<p>・1年あるといろいろできそうである。 ・知ってもらうことが一番。遺跡の数500箇所というと皆びっくりする。</p>
10	その他	<p>その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。</p>	<p>・地域新聞から情報を得て問い合わせする人多い。 ・昔話など子供に伝えていきたいが、教育委員会と協力できないか。 →子供へ伝えることは重要である。指導課に伝える(江藤)</p>

4 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調書

調査日	: 令和 3年 7月 16日 13:00~14:00
調査者氏名	: 中村(もば)、江藤(文化課)

ヒアリング対象者 氏名	石橋氏(所長)
'' 団体名	道の駅しょうなん
'' 所在地	千葉県柏市箕輪新田59-2

質問内容		調査者が記入する () = 発言者(敬称略) ※無記は石橋氏
0	道の駅しょうなんの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅は旅行業をもつ。ツアー企画も考えている。 ・DMOも手がけていけると良い。そのためのインキュベーションの役割を担っている。DMOは我孫子も巻き込めると良いと考えている。 ・石橋氏は手賀沼アグリビジネス推進協議会(地域の資源を商品に仕立て、人を呼び込む組織)の会長 ・道の駅で情報動画を流している。 ・現在第3セクターだが、今度、京王グループが半分持つのでそこに入る。 ・農政課がつながり強い。 ・石橋氏は元沼南町の職員、合併後、農政課→地域づくり→現在
1	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<p>●レンタサイクル 史跡巡りツアー 行っているレンタサイクル事業で自転車を借りてもらい、主に手賀地区の興福院→手賀城跡→旧手賀教会堂→兵主八幡様→北ノ作古墳というツアーを何度か行った。高野氏に案内お願いし、参加者はインカムを付け聞きながら廻る。 ・地元の文化財・歴史に目を向けるため始めた。</p> <p>以下ツアー案 ○手賀沼周辺 ・早くから人が住んでいて、昔は田園調布より高級住宅街で、手賀沼で魚、入江へ追込んで狩りをする等過ごしやすい場所であった、それに伴う遺跡が多いとよく言っている。 ○将門伝説 ・将門伝説関連の場所をできるとよいと考えている。 ○原氏とキリスト教 ・原主水:(徳川の)親衛隊のような人、キリスト教が禁止になった時も改宗しなかった。子孫の原氏:町奉行の同心だった人の子孫の教諭師(刑務所で囚人に教える職)が日本で最初のサンタクロースをしたといういわれがある。原氏の墓(柏印西線の縁)の周りには囚人の墓もある。旧手賀教会堂と関連付けると良いと思い、話をできると良いと考えている。</p> <p>○食 江戸の台所 ・道の駅では健康や食をテーマとしている。手賀沼周辺は昔江戸の台所である。12月の農閑期にサイドビジネスで手賀沼でカモ猟し江戸に持ち込むと暮れの贈答品で珍重された、手賀沼のうなぎ「あお」江戸でブランドだった。 ・戦後の食糧難に東京から常磐線でここまで買い出しにきていた。一段落した後、こちらから東京へ農産物、もち等を持っていき売っていた。農家独自産業化の走り。道の駅辺りの行商文化。我孫子駅や湖北駅等の駅ごとに組合・支部があり何百人も入っていた。旅行に行くとき国鉄の列車貸し切りで慰安旅行であった。そのような記事がある。江戸の食料としての役割は今も道の駅に通じる。 ・銚子でとれた魚、利根川で我孫子の方へ、藤ヶ谷の鮮魚街道で魚を運んだという話もあり、手賀沼は食とは切れない。形はないが、文章でまとめて周知するのは大きな役割。触れる機会をツアーで作りたい。 ・地域で種類のあるかきもち等の紹介 ・ブランディング~耕作放棄置や竹林の改善で開墾ツアーをする。開墾→そば植え→そば打ち等持続可能な取組を考えている。 →茅が今はない。それもあるとよい(江藤) →入会地が”かやま”で茅を取る場所であった。毎年刈ってストックしていた。今もみなかみにはある。業者に5年10年計画でお願いしていないといけない。</p> <p>・手賀沼なら染谷家住宅、手賀の丘の古墳群や大井の船戸の前方後円墳等、資源はたくさんある。 ・手賀沼周辺の集落は明治頃まで漁村の風景であったと町史にある。農作物だけでなく豊かな食があった。そうしたことを掘り起こして伝えていくことに意義があると感じている。 →手賀沼地域は宝庫なので、地域計画から地域おこしにつながると良い。(江藤) →見えるようにして示すことが重要。</p>

現在

			<p>○手賀沼の治水水利</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家康が利根川の東遷で銚子の方に流れを変え手賀沼は氾濫にさらされたため治水が重要だった。また手賀沼の干拓は吉宗が土木技師を連れてきたがダメだった等、何度か挑んだが課題であった。実際にそれから俎上に挙げたのが昭和の食糧難で、最終的に進行したのは昭和50年代前半である。重要な遺産と考える。普段は6基排水機ポンプ、水が上昇し利根ダム水位高くなると1基ずつでは対処できず2基ずつ直列でつなげて3基で排水する。そういう技術はほぼない。しかも大きい鑄物。国策で失くすそうだが。 ・干拓の際に田圃は”いずみ”から20mくらいか手賀沼水をくみ上げ、現少年自然の家近くに3分割に分水の施設あり、自然流下で送っている。谷津田のすぐ脇に製鉄遺跡がありその近くに水がきている。布佐で最後は印西。 ・全体で示すことで農業遺産になる。できればフィッシングセンターから船で行きたい。 ・氾濫の一方、恵みがあった。豊かであった。昭和30年代の貨幣経済までは米が中心だった。そのころは豊四季には嫁に出すなと言われた。 ・当時は手賀沼から柏へ出て活躍した人多い。(例: 染谷家の島村抱月の娘を嫁にもらった。→利根川の水運、手賀沼の水運の復活もできると面白い。(江藤) →昔、我孫子と沼南は合併しようとしていた。それを見据え我孫子市役所が現在地にある。県営の渡し船があり、その船の名が中秋丸、町長の名前合わせた。
			<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生対象の稲刈り体験している。干歯扱きを復活させた。体験と学習を一緒に行うと良いと思う。 →竈のある民家でご飯炊きもできるかもしれない。(江藤) ・鷺野谷は耕作放棄地が700ヘクタールくらいある。強化地域である。一つ、ワイン用ブドウつくる人いる。指導農園もある。我々と地権者の間に農政課が間に入り、一緒に取組んでいく必要がある。 ・寄贈受けた農家を解体し、活動拠点としている。農業交流センター
2	のこしたいもの	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	上記
3		⇒その理由をお聞かせください	
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアーなど行い文化が残っていることにスポットライトを当て誇りを持てるようにする。過疎や高齢化で下向の話題多いが、それだけではいと前向ける地域になると良い。
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財でも人の営みを掘り起こして光を当て現代の暮らしにフィードバックさせる取組が良い。 ・コロナでマイクロツーリズムで自分の地域に目を向ける良い機会である。それを加速する良いタイミングではないか。近くで体験し学習する。(教育委員会の冊子) ・手賀東小学校は学区外通学も認めている。山村留学のような。通う人から手賀囃子の担い手が出ていて良いことと思う。
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財分野と関連して補助金付くと良いところ ～環境、農業関係でつくると良い。
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーサイド ハシモト氏 ・エッジハウス ユハラ氏 ・リキヤンプ ・鷺野谷 ブドウ ムラコシ氏 ～元農政課
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	—
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	—
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

調査日	: 令和 3年 7月 20日 14:00~15:00
調査者氏名	: 中村(もば)、江藤(文化課)

ヒアリング対象者 氏名	小田山博史氏(柏商工会議所会頭)
'' 団体名	篠籠田の獅子舞
'' 所在地	柏市篠籠田1214(西光院)

質問内容		調査者が記入する () = 発言者(敬称略) ※無記は小田山氏
0	篠籠田の獅子舞の概要	
1	現在 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・8月16日に行う。 ・去年・今年では中止になった。練習は7月初めから土曜日4、5回練習する。新人は4月から。 ・柏市内の場所毎の囃子の違いは(中村) →同じ曲でも囃子の笛のメロディや調子や穴の数も違ったりする。笛独断の部分と、そこにたいこや金物が入る部分と、踊りの中でのメロディと、違ってきたりする。横笛の技術のうまいへたはあるが、やっている分にはできると思う。手賀ばやしや三匹獅子舞の笛をやっていると、笛だけで行き来できたりなるとかなる。音を出せてメロディふければ練習すれば1年くらいでできるようになる。・手賀ばやし、逆井囃子、若白毛ばやしは基本的に囃子のみである。おかめ、ひょっとこの踊りは入ることがある。山車、屋台はない。 ・三匹獅子舞の囃子はメロディや曲名が他事例と似ている。 →文化圏が利根川流域の茨城も含めた範囲(江藤) →新田開発に基づき、徳川の統治が安定する前に、3代将軍以降、部落毎に同じことを浸透させて忠誠を誓うではないが、そこに派遣された司が部落をまとめるためにやらせたという説が強い。
2	のこした 柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中でのストーリー性は意外とない。柏の場合は宿場などあるわけではないので。何もなかったところに常磐線の駅が出来たことが発展につながってきた。残るものを系統的に捉えていくしかない。踊りなど(の分野)や地域で分けることになる。ストーリーを組むのが難しい。 ・集落として残してきたものはある。昔は娯楽がないし。今はそういうつながりが必要ない。無形のようなものはもう残しにくい。集落・部落単位では残しにくい。柏市として歴史的背景から、やりたい人は体験できるような形に作り上げることが残す方法として大事かと思う。
3	⇒その理由をお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・手賀ばやし すたれる一方 ・篠籠田も何もしなければなくなる。残すために必要なものはわかるけれど、お金が出れば解決することでもない。
4	課題 文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でみなぎ柏の歴史を同じように習うと良いかもしれない。たなか村、土村など、合併はあっても地場意識は残っている。たなかの人が土の歴史に興味をもたない。捉え方が難しい。 →現在考えているのは、トータルの目標と、地区毎のストーリーと文化財の紐づけ。篠籠田なら古い地名、地主神社、古くから栄える集落。よそから人が来た時にサクヤや斜面林、うなぎ道、農家建築など原風景からストーリーを仕立てられると良いと考える。(江藤) →絵を描くのはそれでよいと思う。前からある物語的なものと合致していると良い。伝統芸能的なものはどう残すか地域に頼ると無理であるので、笛などに体験に興味を持ってもらう。部落で閉鎖的だったが、その時代は終わり柏市の文化としてみんなで作るという取組が必要である。門戸を開く。青森のねぶたのように小学校からの接点がある。あそこまでの文化はここにはないので難しそうである。 →子供たちの笛の活動が始まった経緯は。 →学校からアプローチがあった。七小でゆとりの時代。地域の歴史を知りたいということから、学校に行き周りの風景など昔から今はこうなっているということ等を、PTAの役員もしていたので、初めて三匹獅子舞を学校で展示し、他遊び事もして、そうしてやってみようという声が出て、では笛から、ということがきっかけ。協力的な鈴木先生がいたからできた。興味のない先生に変わると怖い。 →カリキュラムで決まっているといいのだが。(江藤) ・四小にも行っていたが、生徒が三匹獅子舞踊りたいとのことで、あのあたりの地域の小学校はすごく興味持ってやってくれる。中学生は冷めてくる。高校生は縁が切れてしまう。その中でも数人大人になっても続けている人もいるので、小学校の時に一番触れるのは必要である。 →逆井囃子は逆井中学校で行っているが大人になって帰ってくると良いときいた。(江藤) ・地元に残る人も少ない。農家は残っていないし。だからこそ行政の中で維持する方法として広く門戸を開き、受け入れる体制を我々も作っていく、告知も必要。三匹獅子舞は8月16日一日なので練習してそれだけというのはある。
5	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・統一の見解を出してもらい、認知を上げてもらうこと。 ・行政の人にはきちんと見てほしい。

6	行政に	<p>文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください</p>	<p>・委員会時に伝統芸能の保存団体で協議会をつくりたいというお話あったが、コロナで止まっている。今後計画の中で示していきたい。(江藤) →できると良い。どこも共通の悩みがあると思う。人的交流できるとやってみようかという気持ちになる。 →団体によっては保守的でもあり難しいこともありそうだが、一度皆さんで集まり話をしていると見えてくることもあるので、今後できればと考えている。 →当団体でも次世代に変わると続けにくくなることであると実感している。もう少し世代が変わったらわからない。やり方も変わるかも。個人でやっているの私の目の黒い内は、ということをやっているけれども。 →代々続けてきたが、農業もやっていない、地元にもいないということがある。これからイベントとして続けていくしかないか。(江藤) →その部落だけのものではなくたということを受け継いできた側で理解する必要がある。よそ者には触らせないということはわかるが、伝承の形をとらえて、後世にどう残していくか。 →その点大室の盆綱引きは地元のイベント化して新住民が楽しみながら参加するようになったので盛り上がっている。芸能となるとまた違うかもしれない。(江藤) →歴史など精神的なものに裏打ちされたものがありそれが伝統であり、やりたいからやるという人にやらせられるか、ということは我々の歳になるとある。そうだから伝統文化と言うことあるが、そればかりだと残せない。 ・どこに何を結びつけるか。まちづくりととなると話が大きくなる。手賀沼周辺整備はまちづくりと連携すると良い。 →旧手賀教会堂の工事が終わり、周辺でも何かできないかという気運がある。道の駅から訪れる人が多い。(江藤) →手賀沼の自然を活かしたグランピングなど、そういう意味で観光と合わせるのは良いと思う。</p>
7	他団体との連携	<p>柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？</p>	<p>・今のところ協力している団体はないが、先日手賀の住職から提案あり、埼玉の吉川と三郷あたりに獅子舞が残ると言うことで、一回話をしようという計画をしている。市内の団体はない。昔のものが残ってそうな地域ほど人がいない問題があり厳しい。 ・残っているところほど強い意識があるので、一緒にやろうというのが難しそうである。 ・逆井囃子にも地元でなく、転勤で来て、0から笛を練習し演者になった人がいる。(江藤) →入ってこられて、教室のようなところで体験し、そこから入って吹けるようになれば裾野が広がり良い。舞うかはまたその次の話。まず体験すると変わってくる。</p>
8		<p>柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？</p>	<p>—</p>
9	シンポジウム	<p>令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？</p>	<p>・子供にお囃子を実演してもらったり、獅子舞を展示してもらうことは可能か。(中村) →市単位でやるならば可能である。8月16日だとだめだが。土日であればやりやすい。アミューゼの1階だと狭いかもしれない。単体ではやったことはない。短めの時間と言うことはあるが。最低15分。 ・記録映像(H6)がある。 →文化課も所有している。記録映画ももう一度きちんと作りたい。地域計画で民俗の先生の協力も得られるようになった。(江藤)</p>
10	その他	<p>その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。</p>	<p>—</p>

6 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調書

調査日 : 令和 3年 9月 8日 10:00~11:00
調査者氏名 : 中村(もば)、江藤(文化課)、谷口(文化課)

ヒアリング対象者 氏名	石井雅子(地域づくりコーディネーター)
〃 団体名	ちゃーりんぐ柏
〃 所在地	柏市八幡町3-64

質問内容		調査者が記入する () = 発言者(敬称略) 特記ない項目はヒアリング対象者
0	活動概要	「ちゃーりんぐ柏」 石井氏及び数名で活動を開始し、団体として取り組む準備をしている。
1	現在 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	次世代(10代、20代)へ柏市の歴史の魅力を伝えるために、以下をコンセプトに活動を立ち上げている最中である。 ①柏の歴史・文化の魅力をわかりやすく発信 ②サイクルツーリズムの推進を <活動内容> ・安全なサイクリングコースの作成。 ・YouTube動画・TikTok動画のアップロード。 ・ホームページの作成 ・会員同士で定期的にツアーを実施。 ・次年度から一般向けのツアーも定期的に実施。
2	のこしたいもの 柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	・地域毎のストーリーがあるため、地元の人に誇りに思ってもらいたい。 ・鷲野谷の香取神社。 ・塚崎の神明社。 →神社の彫刻に、一つ一つのストーリーがある面白さ。このようなものを伝えられると良い。
3	⇒その理由をお聞かせください	・個人的には戸張城。 →小学生の時から近隣に住んでおり、親しみがある。
4	課題 文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	・歴史の解説書は難解なものばかりで、読むにはハードルが高い。 判り易く説明しようとすると、膨大な文章量になってしまう。 →若い世代では、活字離れが進み、情報のソースはもっぱらYouTubeやTikTokなどの動画であるため、動画で歴史スポットを解説することで、情報を得やすくすることを試みている。 ・柏の観光スポットの多くが、交通機関のアクセスが悪く、行きにくい →自転車を使うことで、アクセス不便なスポットにも行きやすくなる。 ・「歴史散策」「ウォーキング」は中高年の活動というイメージが強い →サイクリングというアクティブなイメージにより、若い層も参加しやすくなる。 ・若い世代は紙面の地図は使わない →スマホを自転車に装着して、googleナビで走れるようにする。 ・自転車の安全性について否定的な声もある。 →安全なコースを調査し、ナビで示したコースに誘導。 ヘルメット着用の徹底をする。
5	行政に 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	・連携に期待する。学校や、各部署とのつながり。 ・安全なサイクリングコースの設定のためには、カーブミラーや、信号の設置など、行政の交通関係部署との協議もあると良いのではないかと。(中村)
6	文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	・現状の活動では、極力お金がかからない範囲での活動を行っているが、補助金などあれば、デザイン費、紙の地図等の制作にも活動の幅を広げることができると思う。クラウドファンディング等も話題を広げるという点において利点がある。
7	他団体との連携 柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	・既存団体は、年齢層や、活動主旨が限定的なこともあり、協力しながらも、それぞれの活動をする方がよいか(江藤)
8	柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	・高柳カルタ(子供から高齢者まで、多世代が関わる取組みとして良い事例である)文化を通じてシビックプライドを育てる。文化の活用は、コミュニティを育てるのに有効。
9	シンポジウム 令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	・市の活動全般に言えるが、特に文化財に関係することは、重要なことなので、大々的に、最大限にアピールすると良い。 ・一般の人参加しやすいものだと良い。
10	その他 その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

調査日	令和 3年 9月 14日 14:20～
調査者氏名	中村(もば)、江藤(文化課)

ヒアリング対象者 氏名	亀岡浩美
〃 団体名	ハズオンラボ
〃 所在地	柏市旭町1-14-3-1010

質問内容		調査者が記入する () = 発言者(敬称略) 特記ない項目はヒアリング対象者
0	これまでの経緯	<p>ストリートブレイカーズ(手づくりの市&地元若造野菜市)を、2009年から毎月柏神社で行ってきた。柏インフォメーションセンターでボランティアを行ってきた。また、JOBANアートラインかしわ実行委員会事務局、自然体験活動指導者(手賀沼アグリビジネス協議会)をつとめる。J-COMの地産地消をアピールするプロジェクト。 野菜ソムリエとして、柏北部エリアの農家と連携して、YouTubeを12本制作している。</p>
1	現在 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> 市内の文化財の取材をして、一般市民にむけた紹介、展示等を行う活動。
2	のこした 柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地から30分たらずで、沼南のようなのんびりした良い風景の町に来られる。 沼南町は魅力的。柏市教育委員会文化課の高野氏のガイドツアーに参加をした。路傍の石でも生きたように解説をされており、興味深かった。 鳥ビシヤなどの伝統行事も楽しい。
3	⇒その理由をお聞かせください	
4	課題 文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> 感動をどのように伝えていくかが課題。 ボランティアガイドの育成が必要。 例えば沼南町は魅力的ではあるが、ひとりでは行きにくい。 →文化財の訪問先と共に、お茶やお菓子を味わえる場所があると良い。 文化財の普及啓発のための、展示場所の工夫。 公民館や近隣センターなどは、一般の方々は足を運ばない。 わざわざいく場所ではなく、意図しなくても目に触れる方法で、裾野を広げていくことが必要。 市民に知られてこそその、文化財の価値である。
5	行政に 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> 体験型のイベントを増やしていくとよい
6	文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	—
7	他団体との連携 柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 文化財が活用されている姿を、動画で見せると良い。 旧手賀教会堂で、合唱隊のYouTubeとか。
8	柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	—
9	シンポジウム 令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	<ul style="list-style-type: none"> 各文化財をオンライン配信でつないでほしい。 五感で伝えられるような柏の良さを伝える。 手賀の田んぼのお米プレゼント等があるとよい。 親子参加型のバスツアー アンケートで意見をもらおうと良い。
10	その他 その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

8 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調査

調査日	: 令和 3年 11月 9日
調査者氏名	: 江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	上山和雄、浦久淳子、小林正孝(元文化課)
// 団体名	歴史クラブ

		質問内容	調査者が記入する
1	現在	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	2009年発足(当時の名称は「手賀び湖と大地の歴史を考える会」、その後改名した)。戦争遺跡の調査と保存運動、考古班。地域の歴史を知るための講演会、シンポジウム、見学会、エコミュージアムの提案などを行ってきた。 ・「柏の戦争遺跡&柏の葉～花野井散策マップ」の作成 ・「柏にあった陸軍飛行場『秋水』と軍関連施設」(代表上山和雄の編著、2015年) ・「柏市花野井秋水念証拠調査報告書、2017年、編集発行。 毎年11月には、訓練棟の公開イベントを行っている。これは意地でも継続しようと考えている。このほか、子供たちへの夏休み見学会など。
2	のこしたいもの	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	・こんぶくろ池など豊かな自然と、まちの歴史。 ・戦争遺跡。柏市消防局西部消防署根戸分署(高射砲第2連隊の「照空予習室及測遠器訓練所」)。 花野井(1号、5号)、大室(2号、3号、8号は埋まっている)に残る弾薬庫。 ・これまで歩いてきたルート(開拓巡り、手賀沼の開墾巡り、布施新町、高野城、増尾、伊藤家と高島野十郎、手賀沼など。
3		⇒その理由をお聞かせください	高射砲連隊根津分所を活用して、近代化遺産資料館とするのはどうかと考えている。柏は軍の中心施設をおいていた。戦争を抜きにして柏を語れない。また、こんぶくろ池にガイダンス施設がないので、資料館などをつくるとよい。
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	柏をまるごと博物館にする、エコミュージアムの考え方を取り入れたい。自然環境も含めて計画をつくれればよい。
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	戦争遺跡の資料館では、当時の再現や、プロジェクションマッピングがあると良い。 柏は博物館がないが、市内の記憶を展示する巡回展などがあるとよい。歴史をしる親子講座、例えば地図と地形の見方を学ぶコンタづくりなど。
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	MAPの印刷費。
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	これまで、NPO、自然団体、町会、大学、学会などとの連携があった。具体的には、豊四季村を知る会、松ヶ崎城の歴史を考える会、高柳、布施新町、ビレッジ、おびしゃ保存会、船戸、篠籠田、逆井囃子、こんぶくろ等との交流があった。
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	そのほか、どのような団体があるのか詳しく知らないので、むしろ知りたい。横のつながりや、連携をつくりたい。
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	様々な団体をつなげるような取り組みがあるとよい。例えば、団体のパネル、スタンプラリー、発表の場など。 歴史まつりに、市民にもわかりやすいものになるとよい。
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

調査日	: 令和 3年 12月 3日
調査者氏名	: 江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	千葉県建築士事務所協会東葛支部
〃 団体名	岡田和明

		質問内容	調査者が記入する
1	現在	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・「景観まちづくり委員会」で、「景観まちづくりアドバイザー」になるための講座を2期(2015年に第2期)実施し、講座修了者が十数名いる。東葛地域(柏、我孫子、野田、流山等)に人数が多い。柏市の「環境整備機構」になろうとしている。 ・これまで、防災施設の見学会+まちなみ見学を、何度か実施した。 ・「カシニワバンク空家活用制度」について、意見を伝えた。(1)ベースデータを不動産業用にしないほうがよい、(2)防災、防犯性の向上、(3)点在化するものを一体化するとよい、(4)建物と環境(庭など)を両方対象とするのがよい、(5)空家「バンク」という名称がよくない。市街化区域が中心なので、市全域になるとよい。 ・東葛LADSという個人活動を行っている。まちづくり、建築デザインに関する活動。A. 建築相談にかかわる事業(耐震診断相談会等)、B. 住まい方「総合アドバイザー」、C. 景観整備にかかわること(まちづくり、調査、運動、提案) ・柏市ペレニアルガーデン沼南計画の活動をしていたが、完成にはいたらなかった(平成25年ころ)
2	のこしたいもの	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・手賀沼周辺の景観 ・雑木林 ・川沿いのザリガニとりや化石拾いなどの思い出
3		⇒その理由をお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・懐かしいと感じるふるさとの風景を残したい ・歴史的建造物と庭や自然と一緒に残っているのが良い
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物を公開する際、リピーターを増やすにはスタイリストをつけるなどして、しつらえを魅せるようにすると良い。 ・沼南エリア(市街化調整区域)の高台が、墓地や資材置き場になっている。
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・景観規制 ・条例をつくるなどしたほうがよい
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	—
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	—
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	—
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	—
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

10 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調査書

調査日	: 令和 3年 12月 10日
調査者氏名	: 江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	橋本英介
// 団体名	沼南ファーム

質問内容		調査者が記入する
1	現在 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会に、農家代表として参加している。20年前に道の駅ができたときのメンバー8名のうちの一人。 ・現在は、ライスセンター業として、「沼南ファーム」の経営に集中している。主に旧沼南町で、我孫子側も少々、田んぼを預かり、稲作をしている。340~350件(500枚、120町)の田んぼを引き受けている。 ・ブランド志向ブームは終わり、現在は業務用米の生産が多い。工場職、ファミレス、国の政策で飼料米など。小売りをする場合、保管庫が必要になる。柏は、秋に収穫をして直ぐに売るスタイルが多い。柏市の小中学の給食用米は単価が安すぎて、売れない。
2	のこしたいもの 柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・東葛印旛大師(送り大師):GWで田植えの時期なので、事務局がまわってきた場合、別の時期に田植えを行わなければならない。 ・トリビシャ(泉、鷲野谷): ・谷津田:布瀬、柳戸の寺~野球場周辺~手賀沼の谷津の一部
3	⇒その理由をお聞かせください	—
4	課題 文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・農家数が減っているため、農村システムとしては崩壊寸前である。①お祭り、②防災、③農道等の草刈り、④治水などを維持できなくなっている。長い目で見て、何を残すか、取捨選択していかないと、すべては残すことができないと感じている。 ・①お祭り:東葛印旛大師の事務局がまわってきても、今までの方法では、ビジネス的には参加できない。一般の人にオープンにして、観光化していくのがよい。出発点も道の駅にするなど。 ・②防災:消防団は、昼間にその地にいる農家だから成り立っていた。昼間ほかの場所に勤めに行くサラリーマンでは、行事には参加できるが、いざという時に成り立たない。 ・③農道の草刈り:鷲野谷の事例。以前は80件の農家で、夏に1回行っていたが、ここ3年は中止している。 ・④治水:田んぼの排水路が泥などで詰まることがある。掃除の人材不足で、それが十分に行えないことがある。農業予算だけではまかせない。田んぼはゲリラ豪雨などの際に、都市部であふれた雨水を吸収し、手賀沼にながすという、治水機能を果たしている。排水路清掃、維持管理の費用を農家だけが負担するのが無理が生じている。 ・谷津田は景観としては良いが、ビジネスとしては採算がとれず赤字であるため、沼南ファームとしては、やめていく方向。 ・地域の伝統を残すには、景観、環境、文化、農業など総合的にみて判断することが必要だろう。
5	行政に 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津田保全モデル地域をつくり、1枚毎に、農地をどうしていくか話し合いを行っているが、離農するひとはそのような集まりに来ないため、話がまとまらない。
6	文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの排水路清掃、維持管理の費用を農家だけが負担するのが無理が生じている。農業予算だけでは無理。
7	他団体との連携 柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会を通して、様々な団体と交流がある
8	柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・いかりファーム(滋賀県)を視察に行った。400町の田んぼを維持管理している。「さんぼうよし」(売り手、買い手、作り手)という感が方があり、参考になる。
9	シンポジウム 令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	—
10	その他 その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「農彩土」という農業体験の活動をおじさんがしていたが辞めていく方向。社員の方が引き継ぐかどうか。 ※田んぼの水は、手賀沼から電気でくみ上げ田んぼに流している。 ※北千葉上水ができて、手賀沼の水質は良くなってきた

11 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調書

調査日	: 令和 3年 12月 17日
調査者氏名	: 江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	鈴木亮平
団体名	balloon 株式会社バルーン

質問内容		調査者が記入する
1	現在 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・UDCKの卒業生(北沢先生、西村先生)。 ・在学当時から、空地活用をテーマとしていたこともあり、カシニワのお手伝いをしていた ・現在は、手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会の事務局を勤め、3年目となる。自然体験プログラムや、手賀沼の文化や活動の記録を残し、若い人にも伝えていくために活動を行っている。
2	のこしたいもの 柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会で話題となっているのは、以下。 ・東葛印旛大師(送り大師、周辺5市、5月1日～5日間で八十八か所を巡る)。 ・結願(けちがん) ・手賀沼の景観、環境。
3	⇒その理由をお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・東葛印旛大師は、思い出に残る。農家同士のコミュニケーションの場であり、お見合いや、品種情報の交換などにもなっている。 ・手賀沼の景観や環境は、柏市だけでなく、周辺地域からも親しまれているだろう。 ・柏市は市街地と農地が近く、生産者と消費者が近いので、都市農業にむいている。職や豊かだと暮らしも魅力的なものになる。
4	課題 文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・東葛印旛大師は、20数年に一度、事務局が回ってくるが、農家の後継者不足により、0歳～2歳は参加できない。最近では、外部の人も参加できるような工夫をしている。 ・景観や文化が残っているのは、農家の営みがあってこそ。農家が減っていくのはやむを得ない部分もあるので、農業のスタイルを変えてでも、農地の面積を減らさないように取り組みたい。 ・新しい農業のスタイルとして、観光的切り口、新規就農、若手に指導が考えられる。出荷用(平日、小中学校)と収穫体験(一般市民、土日)をうまく組み合わせるとよい。農家だけではなく、市民のライフスタイルに農業を取り込み、農地を維持できるようになるとよい。 ・畑も里山も身近にあるが、農家が減っていることで、里山の維持がままならず、シニアのおじいちゃんが維持管理しているが、今後の継続に課題がある。 ・道の駅に、新しい建物ができるが、顧客を安定させるためには、道の駅自体が野菜出荷のコントロールができるとよいとも話している。 ・手賀灘子の後継者育成ができないという話があるが、新たに「手賀まつり」をつくり一緒に行くなど、子供たちや一般にも参加しやすい仕掛けが必要とされている。
5	行政に 文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化を記録する際に、専門的知識をもった先生の指導の方法や、費用・補助金に対する相談。 ・手賀灘子、トリビシャ、東葛印旛大師など、知らない市民が多いので、広く知ってもらうための普及啓発は、行政の役割かなと思う。
6	文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金のみでなく、興味をもつ人を増やし、参加費を集めるなどして、文化を維持するのが良いかと考えている。
7	他団体との連携 柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・既に多数の団体との協力体制あり
8	柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・既に多数の団体との協力体制あり
9	シンポジウム 令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化や、文化的活動にかかわる団体の横のつながりをつくる場や、市民により伝わりやすくするお手伝いはできる。
10	その他 その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

12 柏市文化財保存活用地域計画

ヒアリング調査書

調査日	令和 3 年 11 月 19 日
調査者氏名	江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	
// 団体名	柏観光プロダクション

質問内容	調査者が記入する
------	----------

2016年4月に、かしわ市民大学の修了生が、設立した柏市民公益活動団体。
 ・フットパスの手法で、柏市内の歴史・文化・自然資源を巡る、地域の魅力を体験する小さな旅を企画実施し、柏の埋もれた魅力を発掘し、市民のシビックプライドを醸成する活動をしている。
 (活動経歴の冊子受理)

1	現在	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	これまでのルートは以下。 1)あけぼの山農業公園と布施の神社仏閣を巡るちいさな旅 2)国の有形文化財「伊藤家住宅」と周辺の城址・長屋門を巡る小さな旅 3)手賀沼南丘陵の千年を超える歴史を巡る小さな旅 4)国の有形文化財「染谷家住宅」と周辺の長屋門などを巡る小さな旅 5)大堀川周辺の景観地と牧野伸顕ゆかりの地などを巡る小さな旅 6)あけぼの山農業公園で日本文化を体験する小さな旅 7)柏市北部の歴史を巡る小さな旅 8)柏の葉エリアの景観美を体感する小さな旅
2	のこしたいもの	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	これまで企画してきたルート
3		⇒その理由をお聞かせください	それぞれの地域に、ひとりひとりに多様で多彩なフットパスがある
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	・便所の利用 ・ルート上の交通安全 ・ルート上の住民の理解
5		文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	活動への連携
6	行政に	文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	マップや印刷物の作成費用
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	—
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	—
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	他団体との交流
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

13 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調書

調査日 : 令和 3 年 11 月 4 日
調査者氏名 : 江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	三小田、渡辺
// 団体名	一般財団法人 柏市みどりの基金

質問内容	調査者が記入する
平成7年に設立。 ◆みどりをまもる ・民有地の森林や緑地等の保全活動を行っている所有者等に対しての助成金など、大切な緑を守り育てる活動への助成金の交付 ・市民や企業等のみなさまからの募金又は寄付を運用して、緑の保全・再生・創出を支援する事業を展開 ・ポケットパーク等、柏市が所有する公共緑地等の維持管理を支援 ◆みどりを元気にする ・市民が自主的なボランティアとして行う公園等の緑化・美化活動を支援 ・農薬を使わない害虫駆除方法の効果を検証 ◆みどりをつくる ・市内の保育園や小学校などと連携して、花壇づくりや収穫体験 ・カシニワ「かしわ(柏)の庭」と「かす(貸す)庭」をかけ合わせた造語で、身近にある空き地を、地域の人々が手を加え、みんなが使える「地域の庭」にすることで、柏の緑を守っていこう・増やしていこうと、2010年に誕生 ・カシニワ・フェスタ: 毎年5月に市内のカシニワを一斉公開するイベント ◆まちをつくる ・都市再生推進法人として、「地域との連携により自然環境を生かした魅力あるまちづくり」を目指し、「都市再生整備計画(北柏周辺地区)」を柏市に提案しました。これに基づき、北柏周辺におけるまちづくりを推進 ・北柏ふるさと公園、柏ふるさと公園、旧吉田家住宅歴史公園、その他緑地(非公開)の管理、レンタサイクル(テガチャリ)の管理を行っている	

1	現在	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	・旧吉田家住宅では、平成27年4月より指定管理者となっている。近隣駅から吉田家住宅まで、文化財を巡りながら歩くツアーを行っている。田中駅⇒船戸代官所⇒船戸天満宮⇒吉祥院(大室)⇒利根川沿い⇒香取神社⇒秋水燃料庫⇒大洞院⇒吉田家住宅というルート。花野井地区をまわりたいが住宅地なのでひかえている。10人定員のところ、3~4倍の応募者がある。参加者は70歳代が多い。 ・カシニワ制度では、市内100件程が参加しており、ウォーキングツアーを行っている。
2	のこしたいもの	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	・芋掘り、焼き芋、地域の自然を味わう
3		⇒その理由をお聞かせください	・きつね山 ・大室ビレッジの出土品 ・地元の子供達に体験してもらいたい
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	・最近の、文化課の文化財掘り起しの取組みを市民に紹介することが重要。気軽に見ることが出来、見学後に発信してもらうことが重要。 ・市民も自分からアンテナをたてていかないと、柏の歴史文化の良さになかなか気づけない。
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	・学校教育との連携。小2に「まちたんけん」がある。 ・幅広い年齢層で、体験できるものも良い
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	・PR、広報分野。 ・イベントに広く色んな方に来てもらいたい
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	・アグリビジネス協議会の打合せにたまに参加している。今後連携していこうかなと思う。 ・大洞院、花野井市場(出荷組合)、市内のバンド ・コロナで、花野井神社、香取神社のお祭りが2年間中止となっている。
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	—
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	・国重文の関係者を呼ぶか ・市内の色々な団体が、色々な企画をもちこみ、顔をあわせる会場になったらよい
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

14 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調査

調査日	: 令和 3年 11 月 4日
調査者氏名	: 江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	油原 祐貴
〃 団体名	EDGE HAUS

質問内容	調査者が記入する
以前、商工振興課が関連するコワーキングスペース「ウラカシ」の活動(火付役)をサポートしていた。2011年(平成23年)に独立した。平成17年、柏市と沼南町の合併に伴い、柏市は農業をどうするのかという課題に直面していた。手賀周辺の農家の勉強会を行い、収穫体験や、レストラン・加工品等ができた。農林水産省の補助金なども活用し、平成28年からは民間で舵取りをしていこう、観光地域づくり法人(DMO)を目指そうという話もしたが、結果的には目指さないことになった。その後、農業だけじゃなく、地域づくりに様々な資源を活かしていこうとなり、道の駅の、新設にあわせ「手賀沼まちづくりセンター」の設置を予定している。 https://teganumaweekend.com/the-teganuma-communication-center/	

1	現在	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	・アグリビジネス協議会は、現在5者が中心となっている(道の駅、EDGE HAUS、バルーン、農彩土、沼南ファーム?)。この活動の一部が、ヌマベクラブでありこれに参加している団体はもっと多い。参加者も多いので、隔月のお掃除や、祭事の担い手などになっていくと良いか。 ・学習体験プログラムを計画している。 https://www.okutega-tourism.jp/active-learning/activeLearningPamphlet.pdf
2	のこした	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか?(複数回答可)	・手賀あけぼの橋の水門と、橋のたもとの「はしづめ空間」。 ・「水辺の拠点(柏市曙橋1 手賀沼フィッシングセンター隣接地)」手賀沼の魅力を次世代に繋げ「首都圏随一の憩いの場・水辺空間」とするため、手賀沼アグリビジネスパーク事業の一環で整備を進めてきた。 ・漁業の手網体験
3	もの	⇒その理由をお聞かせください	・はしづめ空間は、パークになりえる。 ・手賀あけぼの橋は、水門があり、水量調整を担ってきたが、現在使われていない。国交省は取壊し予定。 ・旧吉田家住宅の吉田甚左衛門も、「手賀沼が営みの中心にある、内水面漁業の拠点」としている。
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	交流人口が増えてくると、商売のニーズが増え、複数の部署との連携が生まれる。
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	・文化財を活かしたまちづくりが上位計画に入っていることが大切。活動が広がっていく際に、相談できる担当部署がないのは困る。現在のところ農政課が立ちまわってくれている。 ・国交省、農水省、県、等、一体的な動きがでると補助金なども活用しやすくなるか。
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	・計画はつくと盛り上がるが、終わってしまうこともある。協議会が継続する仕組みがあるとよい。
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	・東大チームと一緒に、沼、川、田んぼ、谷津、湿地帯の場所をとりもどす活動をしかけている
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	・はえみや教会堂(流山。4~5年かけて改装を行って)
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	・1ヵ月程に渡って、お披露目会的に行うのはどうか。 ・関係しそうな団体が集まり、活動紹介がされるとよい。 ・活動の中心になっている人達が集まると良い。
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	・学校教育の中に、歴史文化や文化財をうめこんでいくとよい。

15 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調査

調査日	令和 3 年 11 月 19 日
調査者氏名	江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	千葉県建築士会柏支部
// 団体名	支部長佐藤、稲田豊作

質問内容	調査者が記入する
------	----------

◆稲田氏
・これまで、近世～近代の建築について理解がなかったので、取り組まなければと思い、ヘリマネ講座を受けた。手賀沼干拓、旧井上家住宅、白樺派の文人たちの旧宅に関心を持ち、利活用について学習を続けてきたことが、現在の活動の基本になっている。

◆佐藤氏
・千葉県建築士会柏支部は、主に柏市・我孫子市の2地域で運営されている。
・空家対策協議会
・居住支援、文化財をうまく重ねていくことが民家の保存に繋がっていくと考えている。

1	現在	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・長屋門の調査に参加をした。柏市内の20箇所程の長屋門の調査結果を報告書に掲載した。 ・士会メンバーの一部が、下田の杜で、まてや(附属屋)の保存活用を行っている。平屋鉄骨造の旧主屋も魅力的だと思っている。ビジターセンターとしても活用できるであろう。 ・柏工業専門校に木造建築科があり、ここに文化財建造物の保存修理工事の現場見学をさせると良いかと考えている。 ・地域計画作成にあたり実施した(現在中止中だが)建造物の悉皆調査に協力した。 ・士会の活動として、建築探偵団の復活を考えている。東葛地域の建物の調査、柏の葉キャンパスエリア、大堀川など。
2	のこした	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・砂川邸とそのコレクション。ご自宅は民芸の考えに添ったものと外観からうかがえる。 ・民家
3	もの	⇒その理由をお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・近代のものにも着目してほしい。名作と呼ばれるものだけではなく建築の在り方について考えている。
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・旧沼南町(市街化調整区域)は、農家が継続していくための課題が多い。具体的なプログラムが無いように思う。次につなげられるような農家の在り方を研究している。 ・古い主屋の前に、ハウスメーカーの新宅が建ち、古い建物が不要になる用では、継続性が無い。 ・廃材にするのではなく、活用できる材料もある。歴史の証人として残すことが出来ると考えている。古材転用の業者が柏市内にも出始めている。 ・民家再生を考える際に、省エネ法、不動産価値の検討を考えると、課題が多い。所有者としては、頼れる建築士、専門家が近くにいと良いと感じる。
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動への支援 ・広報
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	—
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	杉野さん(梨園)、イーグル(カフェ)、沼カフェなど、文化財を理解する人を増やしていくと良い。
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	—
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のパネラーとして参加するなら、まてやの活動をしているメンバーが良いか。 ・終わったあとに、交流の機会を持てるようにすると良い。 ・見学会があるのも良い。
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

16 柏市文化財保存活用地域計画

ヒアリング調書

調査日	: 令和 3 年 11 月 25日
調査者氏名	: 江藤、中村

ヒアリング対象者 氏名	地権者: 齊藤、会長: 貝山、松本
// 団体名	NPO法人下田の杜里山フォーラム

質問内容	調査者が記入する
1975年 湧水群・多様な動植物・地域の文化遺産などを後世に伝えるべく地権者の齋藤家が「下田の杜の自然を守る会」を設立して保全活動を始め 1995年 「下田の森自然公園友の会」結成⇒2020年、発展的に解散 1996年 柏市緑の基本計画で「酒井根下田自然拠点」と位置付けられる 1999年 一部が「酒井根下田の森都市緑地」として市民に公開 2000年 地域の3町会、友の会、地権者などによる「下田の森里山協議会」が発足し、維持管理業務の一部を受託⇒2018年、活動の輪を広げ解散 2009年 「下田の杜憲章」を制定 都市緑地を拡大、樹林地の一部を「酒井根特別緑地保全地区」に指定 2018年 「NPO法人下田の杜里山フォーラム」を設立し現在に至る ※都市公園法: 都市緑地 ※都市緑地法: 特別緑地保全地区	

1	現在	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・下田の杜全域の環境を保全する取り組み ・生息する様々な生きものの調査研究 ・近隣小中学校、大学教育の場として、学習支援 ・文化遺産である野馬土手、古民家(まてや)や民具などの調査(まてやの調査報告書あり) ・まてやの保存活動 築130年の納屋。人が住まなくなって傷み始めた。建築士会が、1回/月の調査を重ねて、報告書を作成した。助成金(地域貢献活動助成団体)を活用した活動で、今後の保存活用の方法を考えている。令和4年度は3年目となりまとめを予定している。雨落の整備、民具調査、楽習会(楽しく学ぶ) ・宿泊、不登校学生の体験施設等を考えている。
2	のこしたいもの	柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・下田の杜の複合性(参考資料受理) — 柏南部地域「境井根原合戦地」に残る 酒井根地区最後の「地域資産」 齋藤家主屋跡と、附属屋(まてや) 野馬土手(齋藤家がつくった) 齋藤家守護社(稲荷社) 酒井根街道 龍光寺 薬師堂(龍光寺念仏堂) 境井根原の合戦、首塚・胴塚(ひかりヶ丘団地の中にある) 八坂大神 分水嶺(この辺りの水は東京湾にそそぐ) ・その他としては きつね山(増尾城址の前身)
3		⇒その理由をお聞かせください	・地域の宝として次世代に繋いでいきたい
4	課題	文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・柏は文化的レベルが低い ・カシニワの活動がスタートして望ましいが、下田の杜の活動とはスタンスが少し異なる
5	行政に	文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？	・歴史文化を守る取組も、なかなか進んでいかないので、優先順位をつけて取り組んでほしい
6		文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的裏付けがほしい。 ・施設老朽化の保護
7	他団体との連携	柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援課とも連携すべきか。 ・学校教育支援事業
8		柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・立山市に、国登録有形文化財の老人福祉施設がある。 ・藪崎家(郷土資料館)、木村邸(名戸ヶ谷、医者、長屋門が残る)、湯浅邸
9	シンポジウム	令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？	・条件を整理して行うと良い
10	その他	その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。	—

17 柏市文化財保存活用地域計画
ヒアリング調査

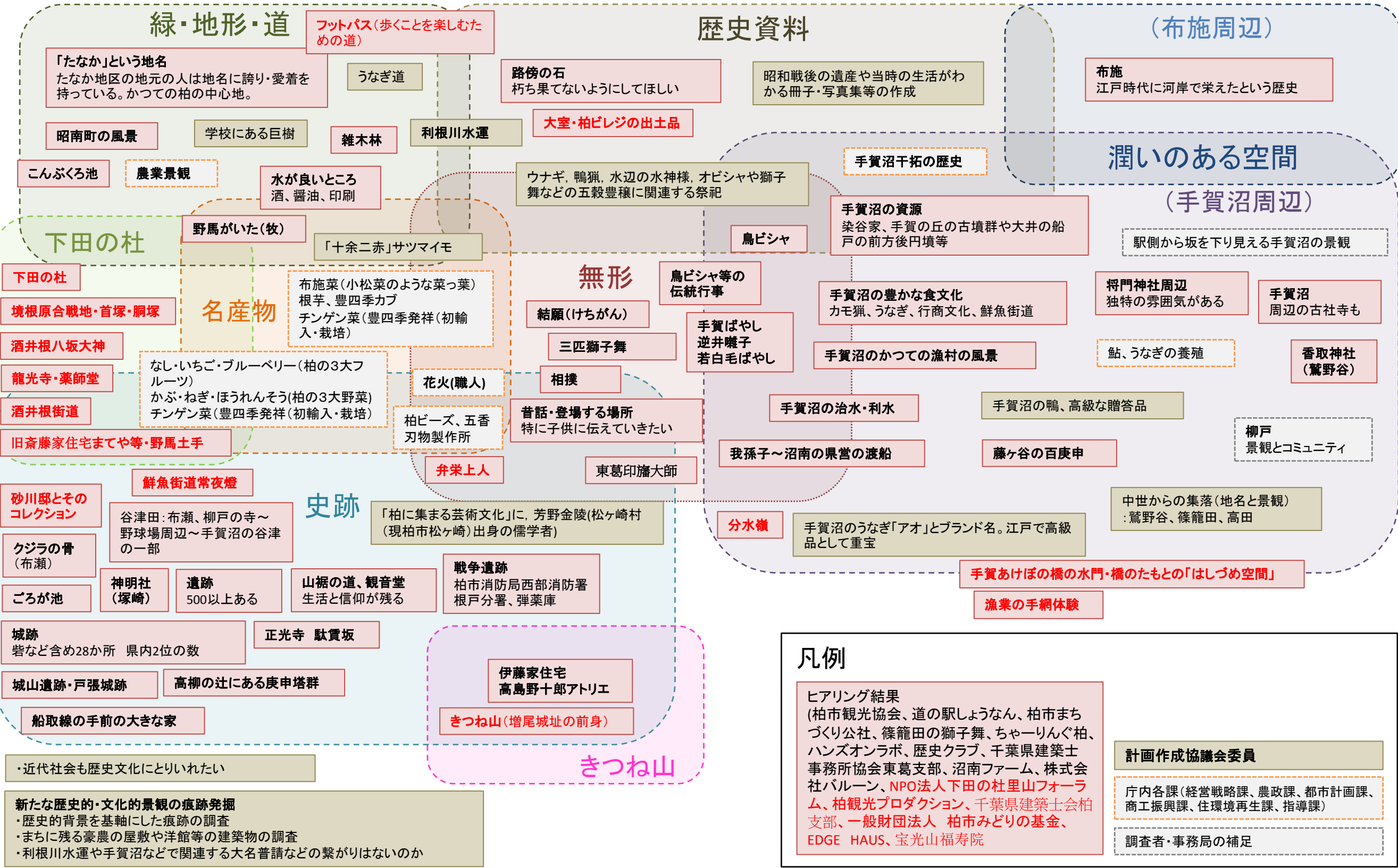
調査日	: 令和 4年 2月 24日 14:00~15:30
調査者氏名	: 江藤、海東

ヒアリング対象者 氏名	関矢淑子(学校法人沼南幼稚園園長、市指定文化財福寿院観音堂管理者)
〃 団体名	宝光山福寿院
〃 所在地	千葉県柏市高柳1366(福寿院)、千葉県柏市高柳1364(幼稚園)

質問内容		調査者が記入する () = 発言者(敬称略) 特記ない項目はヒアリング対象者
0		<ul style="list-style-type: none"> ・観音堂は市指定文化財。安政2年(1855)の落雷消失以降の建築と推測されている。 ・真言宗豊山派。どこの末寺かは不明。昔から檀家がない。そのため法要もない。お参りだけの参詣寺といわれる。地域の総代は2人いる。秘仏があり、これまで2度の調査の時しか開帳はしていない。 ・淑子氏の父が新潟県柏崎を出て逆井でおじと塾(玉碎塾)を開いており、その時に母と出会った。母は逆井の観音寺の娘である。母の父のコウドウ氏が福寿院を購入し2人に与えた。その時は庫裏も荒れていたという。その前は無住職であった。 ・父は中台氏の時代に役場で働いていた。戦後は結核で10年寝ていたが、その後50歳を過ぎて幼稚園を設立した。父を信頼する青年団が応援し建物をつくった。法人になるのは早かった。(設置認可年は昭和40年) ・現在、幼稚園には3~6才、2才(プレ)の児童がいる。90人ほど。 ・ご主人が住職、ご子息が副住職。 ・淑子氏が小学生の頃までは、年3回、正月・5月・9月に護摩焚きを行っていた。若い人がいなくなったことがある。また7月(27日頃か)には大杉様の祭りもあった。祭りは香取神社へ移った。神輿はまだある。 ・馬の神であったようで馬を連れてお参りに来ていた。 ・送り大師に入っており、2枚札がある。中食はすることあったが結願はない。
1	現在	<p>文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、貴方が関わる団体(あるいは個人)が現在取り組んでいること、また、今後できそうなことは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児たちと観音堂で、豆まき、七五三、肝試しを行う。 ・子供たちは、観音堂の畳や彫刻、高さがありもぐれる床下に興味を持つ。中に正座して、護摩を焚くこともある。建物の中で火を焚くのは記憶に残る ・修理費確保のために、開帳や、護摩焚きを行おうかと考えている。
2	のこしたいもの	<p>柏市の文化財や歴史文化で後世にのこしたいと思うものは何ですか？(複数回答可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観音堂を残していきたい。子供たちの原風景として残したい。園児へはお釈迦様の誕生、お悟り、涅槃の話をする。本堂があって、こういう話をするのは大事である。 ・旧沼南町では、神明社、鮮魚街道常夜灯などある。特に手賀地区に文化が残っている。弁栄さんがいることはすごい。
3		⇒その理由をお聞かせください
4	課題	<p>文化財や歴史文化を活かしていく際に課題(問題)と感じていることがあればお聞かせください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観音堂の修理の資金のあてがなく、維持に悩みがある。檀家がなく寺としては収入はなく、駐車場の収入を積み立てているが心許ない。 ・前回差し茅は茨城の茅匠が行った(10年ほど前か)。かつては、高柳の渡会氏が行った。ぐしまで登ると高さがあり難しいと言っていた。総葺は昭和40年代か。(堂内板より昭和35年のよう) ・先日、向拝の飛ん垂木が落下したので、助川工務店が点検し修理した。助川工務店の奥様と淑子氏は幼馴染である。
5	行政に	<p>文化財や歴史文化をいかしたまちづくりで、行政に期待することは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修理への補助 ・文化を語れることが大切で、そのためには教育が大事と思う。 ・意見を言うことが住民の義務だと思うし、それに考えて答えていくことが市長の役割と思う。
6		<p>文化財や歴史文化をいかした活動を行う際に、補助金を使用したいとおもう場面があればお聞かせください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観音堂の修理
7	他団体との連携	<p>柏市内、あるいは周辺で協力すると良いと思われる団体などはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高柳地区の人々は結束力が強い。卒園生が会を立ち上げ活動をしている。(ツネノ氏、アサノ氏) ・イトウ氏 ・湯浅氏 ・大津川をきれいにする会(コシイシ氏、ナガハラ氏、サイトウ氏) ・沼南測量の石戸氏 ・園には母親たちのボランティアによる人形劇団がある。 ・高齢者の持つ力を活かしていけると良い。
8		<p>柏市内、あるいは周辺で興味のある他団体の活動はありますか？</p> <p>—</p>
9	シンポジウム	<p>令和4年度に柏の文化財や歴史文化をテーマとしたシンポジウムを行う予定ですが、どのような事に期待しますか？</p> <p>—</p>
10	その他	<p>その他、柏市の文化財や歴史文化について思うことがあれば自由にお答えください。</p> <p>—</p>

柏市文化財保存活用地域計画 関係団体ヒアリング結果のまとめ

理想のこしたい歴史・文化



柏市文化財保存活用地域計画 関係団体ヒアリング結果のまとめ

現状

現在の活動内容

Web配信・印刷物 など情報発信

カレンダー
柏の風景画。

YouTube動画・
TikTok動画のアップロード

HPの作成

柏の風景チャンネル
Facebook。良い風景を投稿してもらう。

道の駅 情報動画の上映

道の駅 柏の食の発信

昔話 マイクロツアーリズム
合併前「柏のむかしばなし」にない沼南町の話、
掲載していない話の発掘、昔話の場所の特定、マップ・読聞かせ動画作成、QRコードの設置

柏市景観資源ガイドマップ
市民用に地域の景観資源、催事、歴史・文化財の関連スポットの紹介。

「柏の戦争遺跡&柏の葉～花野井散策マップ」

「柏にあった陸軍飛行場『秋水』と軍関連施設」

「柏市花野井秋水念証拠調査報告書」

沼、川、田んぼ、谷津、湿地帯の場所を復活させる活動(東大チームと共同)

手賀沼干拓地の整備(手賀沼干拓物語(前編、後編))の作成

副読本「わたしたちの柏」

手賀沼だより(毎月発行)、TEGANUMA LAKESIDE STORY(DVD)、ヌマベクラブ(冊子)、手賀沼に魅せられて(冊子)

市内の文化財の取材をして、展示を行う活動

ツアー・散策

JR 駅からハイキング

レンタサイクル

サイクリング

安全なサイクリングコースの作成

柏市みどりの基金企画・文化財周遊ツアーの実施

会員同士で定期的にツアーを実施
次年度から一般向けのツアーも定期的に実施

小学3年生の社会科授業
スクールバスで市内巡り
布勢弁天、こんぶくろ池、増尾城址、大銀杏、等

カシニワ制度のウォーキングツアー

史跡巡りツアー
(レンタサイクル)
手賀地区の興福院→手賀城跡→旧手賀教会堂→兵主八幡様→北ノ作古墳

文化保存活動

手賀沼の文化や活動記録

「下田の杜」環境保全活動

「下田の杜」生物調査研究

防災施設の見学会+まちなみ見学の実施

柏観光プロダクション企画のルート
1)あけぼの山農業公園と布施の神社仏閣を巡る
2)国の有形文化財「伊藤家住宅」と周辺の城址・長屋門を巡る
3)手賀沼南丘陵の千年を超える歴史を巡る
4)国の有形文化財「染谷家住宅」と周辺の長屋門などを巡る
5)大堀川周辺の景観地と牧野伸顕ゆかりの地などを巡る
6)あけぼの山農業公園で日本文化を体験する
7)柏市北部の歴史を巡る
8)柏の葉エリアの景観美を体感する

体験

旧吉田家住宅(重文)では
写真撮影のスポットとして活用されたり、建物内で演奏会を実施⇒他の場所でも行うと良い

体験型メニュー(インバウンド向け事業)
相撲稽古、吉田家、手賀沼サイクリング、座禅体験など
※企画したがコロナでほぼなしに

小学生の稲刈り体験・千歯扱きの復活

自然体験プログラム

手賀沼アグリビジネス推進協議会の
取組農業交流センター

篠籠田の獅子舞
年1回の奉納及び練習小学校との連携

土小中学校の資料室

お堂のなかで園児と護摩焚き、豆まき、七五三、肝試しなどをおこなう(福寿院観音堂)

農業体験(収穫体験等)

小学5年生の宿泊体験(自然・歴史体験プログラム)

教育支援(小・中・大学)

ツアー
1日で5か所ほど巡る。(文化財含む)市民限定、平日昼間、無料、バス⇒市民対象。定員の9倍の応募がある

長屋門調査

建造物悉皆調査

管理

東葛LADS(個人活動)

市民(特に新規住人)の文化財への関心が高い

「景観まちづくりアドバイザー」の講座を実施。

戦争遺跡の調査と保存運動

野間土手・まてや・民具等の調査と保存活動

柏市ペレニアルガーデン沼南計画の活動(完成に至らず)

道の駅しょうなん(都市農業センター)の指定管理

市の計画・事業

景観計画、景観重要建造物の指定

景観計画、景観重要建造物、景観重要樹木の指定

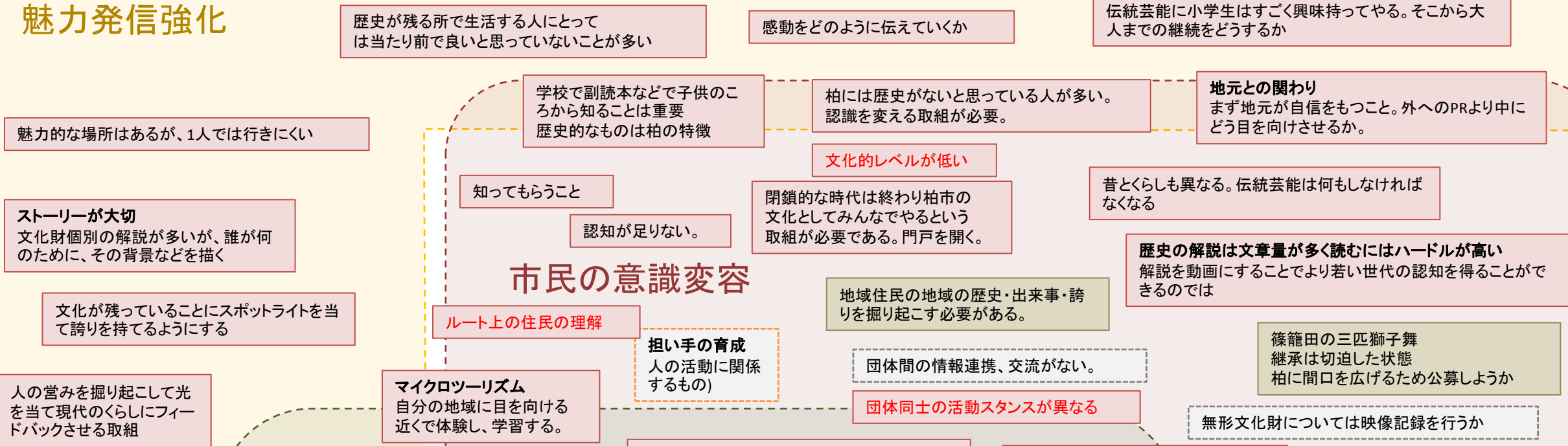
カシニワおにわ、カシニワおうち

あけぼの山の指定管理

柏市文化財保存活用地域計画 関係団体ヒアリング結果のまとめ

課題 文化財の保存活用にむけた課題

魅力発信強化



市民の意識変容

文化財の維持管理や修理に関する費用の捻出

歴史資源の活用に向けた柏市独自のルール策定

未指定や調整区域に位置する地域資源への、価値を残しながら活用するための法規制の緩和や条例

制度

良い場所でも、見に来られるのをよしとしない地元の人もある。

ボランティアガイドの育成が必要

ビジネスで一日空いたから情報が欲しい人

沼南エリア(市街化調整区域)の高台が、墓地や資材置き場になっている。

住宅の新築化

産業振興

見学者のマナー
勝手に個人敷地に入ってしまったり、その土地のルール(感覚)が判らない場合がある

海外の人は、日本家屋で過ごせる場所の情報をまとめている

人が来すぎると独特の雰囲気壊れることがある。来る人を制限する等マネジメントする。

農家が廃れてしまう

耕作放棄地の活用

谷津田は景観は良いが、ビジネスでは赤字のため、沼南ファームの人材が減少傾向

鷲野谷の農家で、夏に1回行っていた農道の草刈りが近年では未実施。

ばらっぱ饅頭
賞味期限が早いので、冷凍すると良いか

オカキなど
パッケージを既存のものではなく、文化財と連携させたデザインにすると良い

徒歩が基本
自転車には不向きな細くて危険な道が多い

トイレの整備

柏の観光スポットの多くが交通機関でのアクセスの便が悪い

市内に来る外国人観光客が増加しているため、多言語対応したホームページなどで公開できると良い

里山をシニア世代が維持管理しており、今後の継続が難しい。

野菜モノの土産はあまり売れない印象がある

民間が入りやすい

地元業者の関わり

観光

若い世代は紙面の地図を使わないナビを使えるよう自転車にスマホホルダーを設置

自転車の安全性
安全なコースを調査し、ヘルメット着用を徹底する

排水路清掃、維持管理の費用を農家が全て負担している

①お祭り、②防災、③農道等の草刈り、④治水などの維持が困難

ルート上の交通安全

我孫子市との連携

柏市文化財保存活用地域計画 関係団体ヒアリング結果のまとめ

方針 課題解決にむけた今後の方向性

調査

地域計画の中では調査しきれない事項
 ・沼南の仏像、そのたの美術工芸品
 ・個人所蔵の蔵の歴史資料
 ・未指定の歴史的建造物の個別調査

コーディネートされたデータベースの構築
 市内の文化財をWeb上で情報発信しデータの蓄積をおこなう。

各旧村の成立ち、事象等の痕跡調査
 市民の地域に対する誇りや歴史の気づきによって、新たな発展のツールとなるのでは

無形文化財の記録映像の更新

柏市の文化財発掘の成果を市民に紹介

子供や一般の人が参加しやすい新たな「手賀まつり」をつくる

文化財の動画撮影
 旧手賀教会堂の動画をとりたい

「まち旅かしわ」で旧手賀教会堂をとりあげたい

文化財の他、街角の風景やまちに縁のある人へのインタビュー動画撮影
 一般配信や学習の資源としての活用

市民への普及啓発

教育委員会と協力し、昔話などを、子供へ伝える

伝統芸能の保存団体の協議会

子供向け文化財解説web版

子供たちに柏の文化や柏らしさを伝えていく

学習の資源としても文化財を活用していく

文化財建造物保存修理工事の現場見学会(柏工業専門学校木造建築科等)

新しい農業のスタイル:
 ・観光の切り口、新規就農、若手への指導
 ・出荷用(平日、小中学校)と収穫体験(一般市民、土日)をうまく組合せる
 ・市民のライフスタイルに農業を取入れる

遺跡発掘体験
 休墓地などで土器を掘る体験

展示場所を工夫する
 意図しなくても目に触れる方法で、裾野を広げる必要がある。

開墾ツアー
 耕作放棄地や竹林の改善
 開墾→そば植→そば打ち等

体験型のイベントを増やす

歴史解説の動画制作
 若い世代の認知度をあげる

ボランティアガイドの育成
 市民ボランティア、有償ボランティア等

パッケージにこだわって商品開発したい

インフォメーションセンターで土産販売を行いたい

建築探偵団の復活

自然環境も含め、エコミュージアムの考え方を取入れる

食～江戸の台所～ツアー
 手賀沼のカモ猟やうなぎ、鮮魚街道、行商文化

DMO(観光地域づくり法人)

農村コミュニティの再構築

農村ビジネスの構築

原氏とキリスト教ツアー

歴史や文化に楽しく触れる機会の創出

訪問先で一休みできる場所があるといい

古材の再利用・転売

ふるさと納税との連携

城跡巡り
 マニア向け印やカード
 地元業者とつくりたい

将門伝説ツアー

サイクリングツールの整備
 ・安全なコースの調査
 ・スマホホルダーの設置
 ・ヘルメット着用の徹底

手賀沼周辺ツアー

かきもち紹介

民家再生について
 頼れる建築家や専門家の整備

観光タクシー(計画中)
 メーターなし。

祭りの内容を一般の人向けに観光化するべき

手賀沼ツアー
 北柏から道の駅、奥手賀、古社寺等巡る
 遊覧船、サイクリングも

昔話関係の土産
 経済につなげたい

法制度整備

観光

手賀沼の治水・利水ツアー
 歴史、水運の復活、ポンプ

歴史的建造物の公開の際、スタイリスト等をつけ、しつらえを魅せりピーター獲得を狙う。

文化財の名入り土産

産業振興

未指定や調整区域に位置する地域資源の保存活用への取組み

景観計画との連携

柏市文化財保存活用地域計画の対象となる歴史文化遺産と保存活用に係る活動のサイクル

